



「APOSHO」年次会議 が2021年10月の 全国産業安全衛生大会(東京大会)と同時開催！

中央労働災害防止協会は、アジア太平洋地域の労働安全衛生団体が加盟する「アジア太平洋労働安全衛生機構」(APOSHO: Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization)の年次会議(APOSHO36)を全国産業安全衛生大会(東京大会)に併せて開催することとしました(うち、全体集会及び分科会については、10月27日(水)～29日(金)開催)。

Pictures in APOSHO33

*写真は、約300名が参加し、昨年11月に香港で開催されたAPOSHO33会場の様子



What's APOSHO?

APOSHOは、1985年に設立されたアジア太平洋地域の非営利の労働安全衛生団体を正会員とする組織で、日本からは中災防が参画しています。加盟国・地域は、日本、中国、香港、台湾、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、インド、モーリシャス、オーストラリアの27団体が正会員、アメリカ、ドイツ、イギリスなどの団体が準会員として加入しています。

APOSHO年次会議の会期は4日間で、10月26日(火)の専門委員会及び10月29日(金)の年次総会はAPOSHO会員のみが対象。**10月27日(水)～10月29日(金)のAPOSHO全体集会(基調講演)及び分科会(技術発表)については、全国大会の一般参加者も自由に参加することができます(一部日英同時通訳付き)。**

The best part of the Congress

- ✓ APOSHOの全体集会では、各国・地域の最新の安全衛生情報を入手できます。
- ✓ 各国・地域の安全衛生団体等と情報交流することができます。
- ✓ 日系企業の安全衛生担当者間のネットワークづくりの場となります。
- ✓ 日本語と英語の通訳が付きますので、大会参加者はどなたでもご参加できます。
- ✓ 緑十字展が海外からの出席者に日本の安全衛生技術を紹介する絶好の場となります。

What's Next?

開催プログラム等の新たな情報につきましては、今後、中災防ウェブサイト等で随時発表します。